

平成26年度第1回地域ネットワーク部会議事要旨

日 時 : 平成26年4月9日(水) 18:00~19:30

場 所 : 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

構成員 : 8名

出席者 : 6名

宮里 浩(那覇市立病院)、上田 真(中部病院)、鈴木 英章(八重山病院)、
佐村 博範(琉大病院)、増田 昌人(琉大病院)、仲本 奈々(琉大病院)

欠席者 : 照屋 淳(北部医師会病院)、川満 博昭(県立宮古病院)

陪席者 : 呉屋 葉子(琉大病院)

[報告事項]

1. 平成26年度地域ネットワーク部会委員について

資料1に基づき、平成26年度地域ネットワーク部会委員について、中部病院の委員が八幡先生から上田先生に変更となったこと、患者立場の委員について、がん患者会連合会に推薦を依頼していることや佐村部会長からも患者さんに依頼していることが報告された。

2. 平成25年度第4回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について

佐村部会長より、平成25年度第4回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について報告があり、承認された。

3. がん地域連携クリティカルパスの適用状況について

佐村部会長より、資料3に基づき、3拠点病院のがん地域連携クリティカルパスの適用状況について報告があった。

[協議事項]

1. 今年度の事業計画の実施について

資料4に基づき、今年度の事業計画の実施について、実施する順番、実施方法については、以下の通りとなった。

【施策1】八重山・宮古・久米島・北部ではがん診療を行っている医療機関に、院内がん登録を用いて「症例区分(診断のみ、診断+治療、治療開始後など)」を集計し、診療実態を明らかにする ⇒今後も対応を進めて行く。

【施策2】がん地域連携クリティカルパス研修会を企画開催する ⇒佐村部会長が離島で研修会を行う。

【施策3】私のカルテの改訂を行う ⇒実施済み。

【施策4】がん診療連携の在り方の検討について ⇒浦添市医師会との連携を進めている。

【施策5】胃がんと大腸がんの化学療法パスを作成する ⇒今ある術後のパスに化学療法治療歴一覧の用紙を付けて始めてみる。ただし、例を付けることやレイアウトを整えることとなった。

【施策6】術後フォロー以外の前立腺がん地域連携パスを作成する ⇒泌尿器の医師が進めている。

【施策7】肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がんの地域連携パスの簡素化の改訂を行い、

適用数を増やす ⇒適用数については少しずつ進んでおり、目標人数まで到達するよう今後も対応する。

【施策 9】症状緩和を目的とした緩和ケア関連の地域連携パスを緩和ケア部会と合同で作成・運用する ⇒パス自体はほぼ完成している。

【施策 10】小児がんは WG 開催し、希少がんは WG を設置する ⇒各施設の事例を確認し、情報提供行う。

【施策 11】地域ネットワーク部会の活動を学会報告および実績を論文化する ⇒報告出来るものはまとめて報告する。

2. 浦添市医師会との連携について

浦添市医師会との連携については、スケジュールを決めて進めて行くこととなった。

3. 部会に看護師に入って頂くことについて

部会に看護師に入って頂くことについて、仲本委員より、部会委員を見直す時期が来ており、運用を進めるためにも看護師を部会に入れてはどうかと提案があった。地域連携室の看護師に部会に入って頂くよう 3 拠点病院に推薦依頼をすることとなった。

4. その他

上田委員より、部会の名称を、地域連携部会にしてはどうかと提案があり、検討することとなった。

5. 次回の開催について

⇒ 平成 26 年度第 2 回地域ネットワーク部会は、第一候補が 7 月 2 日（水）18：00、第二候補は 7 月 9 日（水）となった。